

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成24年11月15日(2012.11.15)

【公表番号】特表2012-504951(P2012-504951A)

【公表日】平成24年3月1日(2012.3.1)

【年通号数】公開・登録公報2012-009

【出願番号】特願2011-530529(P2011-530529)

【国際特許分類】

C 1 2 Q 1/04 (2006.01)

【F I】

C 1 2 Q 1/04

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月21日(2012.9.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

2 つの - グルコシダーゼ用酵素基質の組合せ及び M R S A が耐性化している抗生物質を含む、M R S A バクテリアを検出および / または同定するための反応培地であって、前記抗生物質が好ましくはセファロスポリン、例えばセホキシチンである、反応培地。

【請求項 2】

M R S A が耐性化している第 2 の抗生物質を含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の反応培地。

【請求項 3】

2 つの基質のうち 1 つがインドキシル- - グルコシド基質、好ましくは 5-プロモ-4-クロロ-3-インドキシル-N-メチル- - グルコシドまたは 5-プロモ-4-クロロ-3-インドキシル- - グルコシドであることを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の反応培地。

【請求項 4】

前記インドキシル- - グルコシド基質が 0 . 0 1 ~ 2 g / l、好ましくは 0 . 0 2 から 0 . 3 g / l の濃度で培地に存在することを特徴とする、請求項 3 に記載の反応培地。

【請求項 5】

- グルコシダーゼのための 2 つの酵素基質の前記組合せが 5-プロモ-4-クロロ-3-インドキシル-N-メチル- - グルコシドと 5-プロモ-4-クロロ-3-インドキシル- - グルコシドを含むことを特徴とする、請求項 1 から 4 の何れか一項に記載の反応培地。

【請求項 6】

黄色ブドウ球菌バクテリアの増殖を促進するインヒビターの混合物、好ましくは L i C 1、ピブリオ菌増殖阻害化合物 O / 1 2 9、アズトレオナム及びアンフォテリシンを更に含む、請求項 1 から 5 の何れか一項に記載の反応培地。

【請求項 7】

M R S A バクテリアを分離して同定するための請求項 1 から 6 の何れか一項に記載の反応培地のインピトロ使用。

【請求項 8】

生物学的試料中の M R S A バクテリアを検出および / または同定する方法であって、
a) 請求項 1 から 6 の何れか一項に記載の反応培地に、M R S A バクテリアを含む可能性がある生物学的試料を接種すること；

- b) インキュベートすること；
- c) M R S Aコロニーを同定することを含む方法。